

## ターミネーター 2 (1991)

TERMINATOR 2: JUDGMENT DAY

メディア 映画

ジャンル アクション SF

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 137分

初公開日 1991/08/24

公開情報 パイオニアLDC提供/東宝東和

## 【キャッチコピー】

この映画だけは、決して誰にも ストーリーを明かしてはいけない。

## 【解説】

前作のヒロイン、サラ・コナーと未来戦士カイル・リースの間に生まれたジョンこそ、2029年の対機械戦争で人類を勝利に導くリーダーだった。そのジョンがまだ少年の頃の1994年に、今度は全く異なる目的を持った2体のターミネーターが出現。すでにトップ・スターとなったシュワルツェネッガーが、前作とは正反対にジョンを守る側に回り、特殊金属によって変幻自在の新型ターミネーターT1000と死闘を繰り広げる。はね上がった製作費に比例して、アクション・SFX（T1000のCG効果は驚異的！）は共にかつてない充実を見せ一級エンタテインメントの様相を呈しているが、キャラクターの書き込み不足から来るエモーショナルな要素の欠落が災いして、前作ほどの完成度には至っていない。世界でただひとり人類破滅の日を知ってしまったサラの苦悩、それをイメージとして映像化したシーンのインパクトなど、単なるSFバイオレンスに終わらせまいとする意気込みが買えるだけに、残念な結果ではある。

1994年、ロサンゼルス。自我に目覚めたコンピュータ（スカイネット）によって人類との戦争が起きるという未来を知ったサラは、狂人扱いされ、精神病院へ収容の身に。一方、その未来で人類の指導者となるジョン・コナーは少年に成長し、平穏な日常を送っていた。だがそんな中、2体のターミネーターが未来からやって来る。1体は10年前のものと瓜二つだが、今度はジョンを守るため未来の彼自身から送り込まれたT-800。もう1体はスカイネットからジョン抹殺の使命を受けた新型で、変幻自在の形状記憶を備える液体金属で作られたT-1000。こうして、終末未来を招く事態を未然に防ごうと奔走するサラたちとT-1000との死闘が始まる。ところが、追跡の手を緩めない不死身のT-1000に苦戦し続けるサラたちは、いよいよ絶体絶命の危機に追い込まれてしまう…。

## 【クレジット】

監督	ジェームズ・キャメロン	James Cameron
製作	ジェームズ・キャメロン	James Cameron
製作総指揮	ゲイル・アン・ハード	Gale Anne Hurd
	マリオ・カサル	Mario Kassar
共同製作	B・J・ラック	B. J. Rack
	ステファニー・オースティン	Stephanie Austin
脚本	ジェームズ・キャメロン	James Cameron
	ウィリアム・ウィッシャー	William Wisher
撮影	アダム・グリーンバーグ	Adam Greenberg
特撮	デニス・ミュレン	Dennis Muren
	ILM	ILM
特殊メイク	スタン・ウィンストン	Stan Winston

プロダクションデザイン	ジョセフ・ネメック三世	Joseph Nemec III	
美術	ジョセフ・P・ラッキー	Joseph P. Lucky	
衣装デザイン	マーリーン・スチュワート	Marlene Stewart	
編集	マーク・ゴールドブラット コンラッド・バフ リチャード・A・ハリス	Mark Goldblatt Conrad Buff Richard A. Harris	
キャストイング	マリ・フィン	Mali Finn	
音楽	ブラッド・フィーデル	Brad Fiedel	
主題歌	ガンズ・アンド・ローゼズ	Guns N' Roses	“You Could Be Mine”
舞台装置	ジョン・M・ドワイヤー	John M. Dwyer	
出演	アーノルド・シュワルツェネッガー リンダ・ハミルトン エドワード・ファーロング ロバート・パトリック アール・ボーエン ジョー・モートン ジャネット・ゴールドスタイン ザンダー・バークレイ S・エパサ・マーカーソン カストロ・グエラ ダニー・クックシー	Arnold Schwarzenegger Linda Hamilton Edward Furlong Robert Patrick Earl Boen Joe Morton Jenette Goldstein Xander Berkeley S. Epatha Merkerson Castulo Guerra Danny Cooksey	T-800型ターミネーター サラ・コナー ジョン・コナー T-1000 ドクター・シルバーマン マイルズ・ベネット・ダイソン ジャネル・ヴォイト トッド・ヴォイト タリッサ・ダイソン エンリケ・サルセダ ティム